

## 文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成24年3月2日(金)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前9時45分
- 4 閉会時刻 午後2時15分 (休憩60分)
- 5 出席者
- |     |        |      |       |
|-----|--------|------|-------|
| 委員長 | 大庭 博雄  | 副委員長 | 鈴木 久男 |
| 委員  | 大石 與志登 | 委員   | 雑賀 祥宣 |
| 〃   | 高木 敏男  | 〃    | 豊田 勝義 |
| 〃   | 柴田 正美  | 〃    | 中上 禮一 |
- 当局側 教育長、病院長、竹原教育次長、松浦病院事務局長、  
水野健康福祉部長、所管課長
- 事務局 議事調査係 鈴木

### 6 審査事項

- ・ 議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第3款 民生費  
第4款 衛生費(第1項)  
第10款 教育費
- ・ 議案第37号 平成23年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第38号 平成23年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について
- ・ 議案第39号 平成23年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
- ・ 議案第45号 平成23年度掛川市病院事業会計補正予算(第1号)について

### 7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

市議会議長 竹 嶋 善 彦 様

平成24年 3月 2日  
文教厚生委員長 大 庭 博 雄

## 別紙

### 7 会議の概要

平成24年3月2日（金）午前9時45分から、第2委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（教育長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[9:43～13:03]

①議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条	歳入歳出予算の補正
歳入中	所管部分
歳出中	第3款 民生費
	第4款 衛生費（第1項）
	第10款 教育費

#### ●水野健康福祉部長

人件費について、共済組合の公的年金負担率の変更に係る説明。（9:43～9:50）

#### 第3款 民生費

[福祉課、説明 9:50～10:00]

[質疑 10:00～10:21]

#### ○高木敏男委員

116頁、3款1項1目 説明欄社会福祉協議会支援費について、静岡の社協で2億何千万という使途不明金が出たが、こういう事に対する適正な執行がなされているか、市のチェックはしているか。

#### ●水野健康福祉部長

補助金交付団体であるから、監査している。また、社会福祉協議会独自の監査も行っている。

#### ○高木敏男委員

そうした中で、あのような事件があったわけだが、市としての反省点はあったか。

#### ●水野健康福祉部長

静岡の場合、高額であり長年やっている人が事件をおこした。掛川市の社協も同様か確認したが、通帳を持っている人と印鑑を持っている人を別にしてしている。市としても公金等取り扱いマニュアルの検証も行った。

#### ○大石與志登委員

123頁、3款2項2目、扶助費について。説明欄1の(3)児童デイサービス費が既決予算額2,000万円余、補正予算額がそれ以上にされる要因は何か。

#### ●柴田福祉課長

当初とサービス内容の変更によるものと、想定する見込みの違いがあった。また、事業に対する補助金がついたため増額となった部分もある。

#### ○大石與志登委員

当初の予定より他の事業が入ってきたということか。それとも人数が増えたためか。

●戸田係長

児童デイサービス事業は、社会福祉協議会にお願いしていた学童保育が22年度までは全額で3000万円を委託していたが、23年度からは児童デイサービス事業に移行した。その差額分が支出として増額となった。社会福祉協議会の委託料3,000万円が補助金で2,000万円減額し1,000万円となり、その差額分と利用者増による支出増により、今回の補正となった。

○大石與志登委員

社会福祉協議会に委託事業として出した分が、今回児童デイサービスとして補助金事業であるということか。

●柴田課長

そのとおりである。

○豊田勝義委員

129頁生活保護費。今朝も生保の不正受給が報道されていた。厳しく審査していると思うが、掛川市はどれだけ件数が増えたのか。また、どのような審査によって認定するのか。

●柴田課長

ここでは住宅手当で、生保と少し違うが、生活保護は、12月末現在では205世帯、256人、保護率2.21パーミルである。平成22年2月は1.65パーミルであり、増えているが、最近3ヵ月は、2.17~2.21パーミルで横ばい傾向にある。

○豊田勝義委員

もらい得だといわれることがないように、不公平感のないようにしていただきたい。

○柴田正美委員

全国や県と比較すると保護率が低い但实际上どうか。親切にやっているのか。民生委員が地域内を回って、しっかりした対応をしているのか。

●柴田課長

全国的では10パーミルを超え16.2パーミルほど。静岡県では7.4パーミルほどで、それに比べて掛川市は2.21程と低く、この辺の地域は比較的に雇用の場があるためと解釈している。掛川市は県内でも低いほうだが、掛川市が申請者に特別厳しい審査をしているわけではなく、法に基づいて審査している。

○柴田正美委員

以前、佐東の人は申請に時間が掛かったり、千浜の人は途中で断念したと言う人がいる。厳しい人が路上に放り出されるようなことがないようにしないといけない。この辺が豊かでは無いと思う。雇用の場があるとの答弁だが、民生委員による見回りは。新聞紙上では親子が亡くなるなどの報道があるが、掛川市ではそういうことがないようにしないといけない。要望である。

○高木敏男委員

このような意見が出たとき、民生委員協議会の袴田委員長などに、会合でこのような意見は伝わるのか。民生委員がまわっているのかという意見などはどういう方法で伝わるのか。

●柴田課長

民生委員には年度当初に、生活保護者の扱いについても説明をしているが、最近ではふくしあ体制で、ふくしあ職員が出かけて情報をいただくなどの努力もしている。まずは、最前線の民生委員に周知願ひ、きめ細やかな情報をいただくことが第一と考えている。引き続き、民生委員とふくしあ、社協と連携をしていく。

○大庭博雄委員長

128頁、子ども手当について、どうなっているか。制度改正があったが、必要な人に必ず支給がされているかのチェックはどのようにしているか。今回は所得制限はなかったのか。

●柴田課長

10月に制度改正があり、広報でお知らせや該当者への通知により周知している。必要な人へ行き渡るかについては、10月～1月分が2月14日に支払いをすることで、通知をしている。未だ手続がされていない方もいるので、電話連絡や2月号の広報でのお知らせをしている。今月末でこの法律の適用が終了するので、未受給者がいないように最大限の努力をしている。全国的には未手続きの方が11%ほどあり、掛川市では、2.6%の未申請の人がいて、うち30%が外国人である。職員が手分けで電話等で手続き期するよう勧奨している。所得制限については、現在は無い。

○鈴木久男副委員長

128頁、国庫支出金は減額が増えて、一方一般財源は4,441千円持ち出しているのは、事務費という解釈でよいか。

●大石係長

子ども手当は、平成22年度から23年度の9月までのつなぎ法で、10月から3月までが特別措置法で行っている。初めの時の子ども手当の国と地方の負担割合は、特別措置法で地方の負担が増えた結果、県の負担金と市の一般財源が増えている。

○柴田正美委員

生活保護費は、3分の1が市で、後は国か。市の3分の1は後で交付税措置されるのか。

●柴田課長

国が4分の3、市が4分の1で、交付税措置はされない。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

第3款 民生費

〔高齢者支援課、説明 10:21～10:27〕

〔質疑 10:27～10:36〕

○豊田勝義委員

120頁の配食サービスについて、委託している業者はどれくらいか。

●平出課長

3者である。シルバー人材センター、大東福祉会、シニアライフクリエイトである。

○豊田勝義委員

常に業者は選定するのか。

●平出課長

シルバー人材センター、大東福祉会は従来の旧の市町時代から行っており、シニアライフクリエイトは22年度から単価契約で、糖尿病食や高血圧に対する特別食などを提供してもらっている。

○大石與志登委員

120頁。介護基盤整備・施設開設準備事業補助金30,000千円の減は、民間施設が対象外になったとのことだが、具体的にどのようなようになったのか。

●平出課長

今年度、グループホームは2施設建設しており、水垂と南郷である。南郷の建設主体はまず土地の取得をしており、作る会社と経営する会社が別となっており、賃貸借の契約となっているため、補助金の対象外である。

○大石與志登委員

土地は賃貸借をし、建物は実際介護をやる業者が建てることか。

●平出課長

建設までを土地の取得をしている会社が行い、経営が静岡にある介護施設の事業者で、3,000万円の補助金の対象外である。

○大石與志登委員

土地の所有者、建物の建設者については、介護基盤関係の補助は全くないということか。

●平出課長

そのとおりである。

○大石與志登委員

経営をする会社については、介護保険の対象になるということか。

●平出課長

それは、介護保険事業者となるので、適用となる。

○高木敏男委員

それは介護施設に関してのことか。障害者グループホーム経営の施設は既存の建物を借りているが、法律が分けられているということか。

●鈴木主幹

介護保険施設の補助金はもともとは国の地域介護福祉空間整備事業のメニューの中で、直接補助でなく、県に基金を積み、そこから市町村に助成するシステムになっている。その中の決めで、土地を取得して作ってそのまま運営すれば補助対象だが、貸すと対象ではないという補助要綱になっている。自分で運営すれば補助対象になる。2ヶ所の内ひとつは自分で土地を取得し建設し自分で運営するので補助対象になるが、もう1件は他に貸すため補助対象外になっている。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

#### 第4款 衛生費

〔保健予防課、説明 10:36~10:43〕

〔質 疑 10:43~10:49〕

○雑賀祥宣委員

52頁、6節感染予防（子宮頸がん）歳出も同じだが、金額が大変減額が大きいということで、希望者が少なかったのか、希望者がどういう理由で減ったのか教えてほしい。

●山崎保健予防課長

子宮頸がんヒブワクチン肺炎球菌のワクチンは、任意接種で行うものである。今年度から補助をし、新しく補助制度が始まったものである。当初80%の接種率を見込んでいたが、任意接種が補助されるという個人通知をしたが、接種を受けなければいけないと認識や受けたいという気持ちが充分啓発されたかという点が1点。子宮頸がんワクチンの供給不足があり、実質的には8月に入ってから接種が行われることが多くなり、3回目が年度内に実施出来ないお子さんが出てきたので、見込みよりも低いということが考えられる。ヒブや肺炎球菌については非常に接種スケジュールが立て込んでいて、保護者がどのようにスケジュールを立てていいのかわからないといったような状況もあった。そういった点で、予定の80%には満たなかったと考える。

○雑賀祥宣委員

教育長にお聞きしたい。家の孫は中学生で、子宮頸がんの接種の話を母親としていたが、学校での教育はどうなっているか。

●杉浦教育長

学校では保健の授業で養護教諭を中心として、学級担任と連携して指導をしている。

○中上禮一委員

131頁の成人保健事業費、生活習慣病予防費、実績見込み減ということだが、予想人数というのは基準はどういうところで求めているのか。

●山崎保健予防課長

実績の見込みは対象年齢の人数とそのうちの何%が受けるかということであるが、前年度の実績を上回る見込みで当初予算を立てている。がん検診については昨年度に比べるとほとんどのがん検診がクーポン等の利用もあり前年度増の見込みとなっている。

○柴田正美委員

人間ドックと特定健診、これは対象者が何名で何人受診しているか。また、掛川市立病院と聖隷病院ではどうか。

●水野健康福祉部長

答弁は国保の時にする。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

第3款 民生費

〔国保年金課、説明10：49～10：51〕

〔質 疑〕

なし

第4款 衛生費

〔地域医療推進課、説明10：53～10：56〕

〔質 疑 10:56～11:05〕

○柴田正美

134頁4款衛生費1項保健費、大東大須賀ふくしあの備品購入費等に関連して、訪問看護ステーションが入った。今まで中村でやっていたが、地代などが無料になったのか。

●石川地域医療推進課長

訪問看護ステーション大東の地代の関係については、のちほど答弁させていただく。

○柴田正美委員

24年度の計上も含めて、少し安くなるのかその辺も教えてほしい。

○中上禮一委員

134頁に在宅医療推進事業委託料で、実際に医師が往診をどのくらい行っているのか。

●石川地域医療推進課長

実際に開業医の皆さんがどれだけ訪問活動、往診活動をやっているかという実態までは、当課では把握していないが、在宅医療に向けて小笠医師会でも訪問診療体制を強化している。＝

昨年度、対応出来る開業医を増やしたいという思いの中から、開業医の皆さんに今後そのような方向で前向きに考えていただけるかというアンケート調査を実施している。いきなり往診、訪問診療までつながるといのは大変なことであるので、とりあえず在宅医療推進する中で看取りをまずやっていく必要があるという医師会の考えの中で、在宅の看取りに対する死亡診断書を書くための姿勢をアンケート調査したところ、対象開業医の中の85%くらいの先生方が参加をしたいという意向を示しているという結果を聞いている。

○中上禮一委員

ふくしあを作る時に当初、往診をうたわれていたと思うので、積極的に行っていただきたい。

○柴田正美委員

昨年6月15日に介護保険の法律が改正して、今年の4月から施行される。定期巡回サービスの導入ということで、24時間365日対応の巡回サービスの具体化ということが項目にあるが、それに向けてニーズをしっかりと調査しなければいけないということもあるが、ふくしあとの関連はどう考えているか。

●石川地域医療推進課長

24年度の医療・介護同時改正は在宅医療にかなり比重を置いた改正になるということを知っている。現在ふくしあも在宅医療に向けていろいろな取り組みを始めているところであるが、例えば東部ふくしあでは、東部ふくしあ管内で往診体制に対応出来る開業医の先生をできるだけ増やしたいという思いの中から、年に1、2回ふくしあと開業医の先生を交えた意見交換会を開催している。南部大東ふくしあの方も訪問看護ステーション大東が入っているので、できるだけその輪が広がるようにそれぞれのふくしあにおいてそのような活動を展開していきたいと思う。

○柴田正美委員

24時間とか訪問とか、どういうところを担うか。

●水野健康福祉部長

担うのは介護事業所であり、採算に合うということまでは、事業者のほうで研究していると思うが、だんだんそうになっていくと思う。今のところ全部やるというのではなく、これからである。

●岩附南部大東ふくしあ所長

前述の南部大東の訪問看護ステーションの負担割合の件について。大東支所の延べ床面積のうち訪問看護ステーションが占める割合を計算して、23年度は2月3月分の2ヵ月分を負担していたくようにお願いしている。24年度は1年間ということをお願いしている。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

---

休憩 11:05～11:15

---

第10款 教育費

〔教育政策課、説明 11:14～11:17〕

〔質疑 11:17～11:20〕

○雑賀祥宣委員

54頁、大規模地震対策等総合支援事業費補助金について、小中学校校舎補強事業・改築事業の補助率はどのくらいか。

●鈴木教育政策課長

県補助金で2分の1である。

○鈴木久男副委員長

耐震補強の施設整備は、小中学校いずれも大きな増額補正となっているが、これは精算ということで工事は終わっているという解釈でよいか。それとも繰越明許となっているのか。

●鈴木教育政策課長

この中で委託費と補強工事費で、委託費は執行しているが、工事費は全額繰越である。

○鈴木久男副委員長

工事は夏休みに集中して行うのか。

●鈴木教育政策課長

工事を予定しているのは、西郷小、曾我小、大浜中で、主な工事は夏休みであるが、大浜中は工事費が3億数千万円と多額となり、大きな音の出る工事は7、8月の夏休みに集中して行い、そのほかものは9月から来年の3月頃になるものと予定している。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

〔学務課、説明 11:20～11:25〕

〔質 疑 11:25～11:26〕

○雑賀祥宣委員

86頁、14節、過年度分給食費自己負担金は、まだ未納があるか。

●中根学務課長

23年度の当初では698万円程の未納があったが、現時点では過年度分の未納は486万円程となっている。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

第10款 教育費

〔学校教育課、説明 11:27～11:32〕

〔質 疑 11:32～11:35〕

○雑賀祥宣委員

180頁、4目のうち、教育研究事業費、東海大会及び全国大会出場補助金について、喜ばしいことでますます増えることを望む。大会に行ったのは何か。

●青野学校教育課長

23年度東海大会、全国大会へは13件の東海大会あるいはそれに準ずる大会への出場があった。全国大会はないが、中体連ではすべて東海大会である。西中学校のソフトテニス、大浜中学校の卓球、栄川中学校の水泳、北中学校のバレーボール、陸上、東中学校の水泳、大須賀中学校の水泳、剣道、桜が丘中学校の陸上である。

○中上禮一委員

陸上が2校あったが、静岡県市町対抗駅伝では掛川はまだ結果をだせなくて寂しいので、こういったところにも強化策をして補助金も出るようにしてもらいたい。要望である。

第3款 民生費 第10款 教育費  
〔幼児教育課、説明 11:35～11:40〕

〔質 疑 11:41～11:50〕

○雑賀祥宣委員

24頁、過年度分幼稚園保育料は、こども手当てからの天引きもできるようになったが、効果はあったかどうか。

●佐藤幼児教育課長

幼稚園保育料は150万円程、保育園保育料は1,200万円程度の滞納額となっている。子ども手当からの天引きとして幼稚園保育料は3件3万円、保育園保育料は18件83万円弱が収納できた。金額の大小はあるが、いままで納めていただけなかったものが今回の措置で収納されたことは効果は大きいと認識している。

○雑賀祥宣委員

まだまだ引き落としとしては困るという人が結構いるということか。

●佐藤幼児教育課長

子ども手当からの引き落としは、あくまでも同意をいただいたうえでのことであり、なかなか同意をもらえない人がある。

○高木敏男委員

他市で書類送検された保育ママ事件があったが、こういう場合、賠償は掛川ではどうなっているか。

●佐藤幼児教育課長

富士市での不幸な事件である。掛川市では事故等に対応するため賠償保険には加入している。掛川では保育ママが預かっているお子さんを自分の車で移動する対応はしていない。すべて保護者がしかるべきところまで送迎をやることとなっている。

○豊田勝義委員

184頁、私立幼稚園支援費について、運営費交付金が増額となった内容は。私立幼稚園障害児教育事業費補助金の増は、人数的に増えたのか。障がい児と認めるのはどのようにされるのか

●佐藤幼児教育課長

幼稚園支援費の運営費交付金は、園児一人当たり月額1,000円を補助している。障がい児保育については平成23年度から新規で取り組んでいる事業であり、当初10人の見込みが、現在確定見込みで17人である。くるみ、あんり、さや、中央でそれぞれ預かってもらっている。

認定基準は、保育園関係では制度的に障がい児が補助事業に組み込まれており、それに準じて行っている。

○中上禮一委員

障がい児を私立で預かるにあたり、先生に特別な資格が必要か。問題が生じた時の対応が気になったので。

●佐藤幼児教育課長

特に医療的な資格は必要ない。保育士、幼稚園教師の資格の中でやっている。

○大石與志登委員

夏の節電対策の時、土曜日曜に保育を実施したが、その経費はどの程度増額になったか。その投資効果はどうだったか。

●佐藤幼児教育課長

企業の土日操業に伴う日曜保育では、当初、掛川、大東、大須賀地区とそれぞれ1園ずつで行う計画であった。結果、大須賀地区には該当がなかったため、掛川地区はすこやか、大東地区は千浜保育園にお願いした。実績はすこやかでは延べ103人の利用、千浜は延べ83人の利用があった。

補助金は人件費の増額分として18万8,000円が県から入ってきた。それぞれ各園は、これに対応するために職員を配置しており、経費的には補助金以上のものが必要とされた。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

第10款 教育費

〔社会教育課、説明 11:50~11:57〕

〔質 疑11:57~12:10〕

○雑賀祥宣委員

10款5項5目、6目の関連で、津波や地震対策として文化財保護区域が避難地として指定され、しかも民地である城山公園だが、その避難地としての開発は、保護の観点からどうか。

●大川原社会教育課長

文化財保護の関係では、そこが遺跡として指定されていて、開発が行われる場合は、確認調査を行っており、形状等をどのように変えるかにより、正式な発掘調査等が必要になる状況である。

○雑賀祥宣委員

それに対して市の防災マップに避難地となっているが、今後、避難地として可能か、適当か。

●大川原社会教育課長

その土地は民地であり、指定したことにより市民安全課で土地所有者と話を進めいくと思う。当課は文化財保護の関係で対応していく。

○雑賀祥宣委員

土地所有者が了解すれば、文化財であっても可能か。

●大川原社会教育課長

可能である。構造物などどのような物を作るかにより調査が必要だとか、不要だとかの判断になるが、形状を変えることも可能である。

○鈴木久男副委員長

歳入で、大東体育館、大須賀体育館の使用料が使用停止のため減となった。それに関連し、代替施設として旧B&G艇庫を利用している武道場としての使用は、順調にしているのか。課題はあるのか。

●大川原社会教育課長

代替施設の使用料金が高くなる場合には、元の料金にするなど減免している。武道場の代替施設として旧B&G艇庫を利用しているが、問題点としては塩害がでて、屋根がもろく雨漏りがあったが、早急に業者に対応してもらった。

○豊田勝義委員

スポーツ少年団については、各種競技あるが少子化等で苦勞している。魅力ある中学校づくりでは東海大会などに出場する時は補助金がでるが、スポーツ少年団に対する補助金はないのか。

●大川原社会教育課長

スポーツ少年団についても、予選会から県大会を勝ち抜き全国大会に出場すれば、奨励金の支給の対象になる。

○豊田勝義委員

スポーツ少年団は、指導者、父兄がかなりの負担をして運営されており、市としても大いにスポーツの振興をはかるように支援することを要望する。

○中上禮一委員

24頁、社会教育施設使用料、吉岡彌生記念館では、かなり人数の見込みが違ったということか。健康講座も少ないようだが、最近の入場者数の推移あるいは健康講座の受講者の推移はどうか。健康講座は全県にチラシを配布していると思うが、せつかく良いことをやるにあたり開催の仕方やニーズをつかんだ講座であるなど研究の必要があると思うがいかがか。

●大川原社会教育課長

入館者数は伸び悩んでいる状況である。記念館としてもいかに入館者を増やすかの努力をしており、サポーター制度の導入などいろいろ手立てはしている。今後も引き続き努力していく。

○柴田正美委員

24頁、社会教育施設使用料、公民館の使用料が有料化して、民謡会でも使えなくなってしまっているが、有料化になっているのは何館あるのか。

●大川原社会教育課長

有料施設として料金設定されているのは大東北公民館と大須賀中央公民館であり、条例化されている。その他では条例上謳ってはいない。

○柴田正美委員

条例でうたっている有料の公民館は2館だが、それ以外で有料はないのか。

●大川原社会教育課長

旧大東町時代、公民館の補助金をもらい造った佐東、国浜などは、公民館という名前であっても、実質的には職員を送っての公民館としての活動をしているものではない。

○大庭博雄委員長

68頁、掛川球場の整備基金の利子収入が載っているが、今、基金はいくらあるのか。

●大川原社会教育課長

1億200万円程度である。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

---

[休 憩 12 : 10~13:00]

---

第10款 教育費

[図書館、説明 13 : 00~13 : 02]

[質 疑]

なし

[討 論]

なし

〔採 決〕

議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について  
全会一致にて原案とおり可決すべし

〔13：03～13：35〕

②議案第37号 平成23年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

●清水国保年金課長

最初に先程の柴田正美委員の質疑に対する答弁をする。一般会計の事項別明細書122頁に人間ドック並びに特定健診とあるが、これについては75歳以上の後期高齢者の検診の内容である。後期高齢者は、平成22年度については対象者が13,762人、特定健診の受診者は3,053人で22.18%の受診率である。23年度については中間であるが、該当者は14031人、これは4月1日現在の該当者である。2月末で3,259人ということで23.23%で去年を若干上回っている。後期高齢者の人間ドック助成事業については、今年度から開始したもので一人1万円の助成をしているが、2月末現在で101人が利用している。

続いて国保加入者による人間ドックの関係であるが、平成22年度の対象者については23,501人、利用者が3245人ということで受診率は13.81%。該当者は20歳から74歳。続いて23年度の人間ドック対象者23657人、1月末現在2,534人が利用している。前年対比で163人利用者が減っている。続いて、特定健診の関係であるが、平成22年度該当者は20,967人、受診者7,049人で33.62%の受診率。本年度については、該当者は20,982人で1月末現在で受信者6,899人ということで、前年同月比に比べて304人増えている。どこの医療機関を利用しているかということであるが、人間ドックの関係は22年度、全体で3245人が利用した中で、掛川市立病院が2,354人で72.5%。聖隷が三方原と住吉合わせて785人で24.2%。残りの医療センターが106人という実態である。

〔国保年金課、説明 13：03～〕

〔質 疑 ～13：35〕

○高木敏男委員

43頁の特定健診等事業費、5,000人を目標として実質はそうはいかなかったと。今回まだこれは3月17日にあるのだが、掛川まちづくり塾の中で1年間、Bチームが特定健診の重要性というテーマで勉強会をやってきて17日に発表がある。一般市民からは非常に大事だということにはわかっていると思うが、実態としてなかなかそうはいかないということについて、反省点、原因、どうやっていくのか。

もう1点は、45頁、保険給付等支払準備基金積立金、お金はもちろんきちっとした管理のもと運用していると思うが、一部利息がいいと預けて大変危険な目にあっている事件が報道されている。こういう積立金の管理はもちろん静銀や市中銀行なら大丈夫と思うが、掛川市もかつて株式投資をしたりやったわけですね。現在どういう形でこういう積立金は元本が保証されているのか。

●清水国保年金課長

特定健診は、1月末現在平成22年度では、6,595件であったが、今年度6,899件ということで304件増えている。ここで予算を減額したのは、農協関係者が遠州病院を利用していることが多いが、掛川で約900人くらいの利用がある。医師不足で医師の診察ができない。特定健診はお腹周りを測ったりすることと、プラス医師の診断が必要となり、それが最低条件やらなくてはならないことである。

昨年、それについて特定健診で900人分を見込む予算をつけたが、遠州病院が医師の確保ができないということで、450人分減とした。実際は特定健診利用者が増えているので、その分の差である。

特定健診の受診率を向上するために広報活動は行っているが、現実としては40歳～50歳台の若手の健診率の伸びが悪い。

去年は、勸奨はがきを出しており、出したところ非常に反応が良かった。今年度については2回出している。もう一点大きいのは、今までは特定健診だけで医療センターで日を決めてやっていたが、今年度からは肺ガン健診とあわせて行い、利用者の利便性を高めるということで行っている。

来年度は日程等調整中であるが、胃ガン検診とあわせて同時受診が可能なように医師会と調整をしている。胃がん検診の場合は午前中にやらなくてはいけないということで、大変なところがあるが、受診率の向上に努めている。

基金の管理については、出納局で管理しているが、現在3億2,831万円についてはスルガ銀行へ預金していて、0.200%の利率で定期預金をしている。今年度追加して3億8,000万円積み立てるが同じくスルガ銀行で、0.200%ということ定期預金で管理している。

○柴田正美委員

基金の残高はいくらか。

●清水課長

23年度末で、5億2,936万円が今年度末に残る予定。来年度当初予算でそのうちの4億7,000万とりくずす予定である。積立が今年度3億8,000万円と今度の補正で1億2000万円で5億積み立てるようになる。5億積み立てて3億は今年度の事業として出さないといけないので、残りが5億2,936万円ということになる。

○大石與志登委員

29頁、今回の補正は減額が多い中で、国民健康保険資格確認業務委託料が増額になっているが理由は何か。

●清水国保年金課長

これは病院から出される診療報酬明細書（レセプト）が、当初、47万733枚予定していたものが47万6090枚ということで5357枚増の予定である。

予算の中で医療諸費は減額されているが、一般被保険者が減っている分退職被保険者が増えているということで、このレセプト件数については増えているということで増額になっている。診療件数が増えているという考えである。

○大石與志登委員

保険給付費や療養給付費が減って、これだけが件数増えているのか。

●清水国保年金課長

そのとおり。これは金額的に外来と入院という形があるので、一概に件数が減ったから医療費が減る、件数が増えたから医療費が上がるという場合ばかりではない。今の実績ではレセプト件数が増えている。院外処方確立されているとはいえ、院外処方になってからはレセプト件数が一人につき2枚づつ来るので、増えている部分があると思う。件数ですので、金額ではない。

○大石與志登委員

院外処方の分についてもかなり年数が経つので、落ち着いているのかなと感じがしていたが、まだ薬局では増えている状況ですか。

●清水国保年金課長

調剤件数はつかめませんが、退職被保険者が増えているということで、退職者というと60歳から64歳のかたですので、非常に医療のリスクが高い方が多いため、病院にかかる件数が増えることになると思われる。

○柴田正美委員

43頁、レセプト点検事業費167万7,000円のマイナス。これは1件6.3円から2.9円に金額が少なくなったとのことだが、これはどのようなことか。

●清水国保年金課長

先ほど大石委員から質問があったのは、国保連合会が医療機関から上がったレセプトを審査することであり、43頁のレセプト点検は、縦覧という方法で3ヵ月分まとめて点検すると検査や薬の回数が多すぎるのではないかという点検をしている。以前はレセプトを紙媒体でしており、整理保管も委託の中に入っていた。6.3円から2.9円になったというのは電子媒体の申告が増えて、紙媒体のレセプトの件数が非常に減っていることから、レセプトの整理分だけの単価だけは下がっている。

○柴田正美委員  
基金について再度説明を求める。

●清水国保年金課長

基金は、残が、22年末で328,395,000円、その3億円を23年度で使うという予算である。23年度は5億積み立て、利息は965,000円。取り崩し額が3億円で、23年度の末では5億2,936万円となる。

○大庭博雄委員長  
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕  
な し

〔採 決〕  
議案第37号 平成23年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について  
全会一致にて原案とおり可決すべし

.....  
[13:35~13:38]

③議案第38号 平成23年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について

〔高齢者支援課、説明 13:35~13:38〕

〔質 疑〕  
な し

〔討 論〕  
な し

〔採 決〕  
議案第38号 平成23年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について  
全会一致にて原案とおり可決すべし

.....  
[13:39~13:54]

④議案第39号 平成23年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

〔高齢者支援課、説明 13:39~13:50〕

〔質 疑 13:50~13:54〕

○柴田正美委員

1月1日で特養ホームの待機者が634人で緊急に入所したい人が87人。現状はどうなっているか。それから、介護保険料の基準は4期が4,300円、5期が5,050円にするとということだが、1期からそれぞれいくらか。

●平出高齢者支援課長

23年11月1日現在の待機者数は566人であり、68人減少している。緊急のものについては集計中である。保険料の額は第1期2,568円、第2期2,800円、第3期3,800円、第4期4,300円である。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第39号 平成23年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について  
全会一致にて原案とおり可決すべし

.....  
[13:55~14:15]

⑤議案第45号 平成23年度掛川市病院事業会計補正予算（第1号）について

〔経営企画課、説明 13:55~14:05〕

〔質 疑 14:05~14:15〕

○大庭博雄委員長

非常勤の医師が活躍してくださってありがたいが、その費用は181頁の報酬に組み込まれているのか。

●釜下課長

181頁報酬の中に医師代務料があるが、診療科ごとに必要な診療業務の支援をしていただくために派遣していただいた医師の手当てである。

○大庭博雄委員長

非常勤医師の分はここにはいつているのか。

●釜下係長

非常勤医師の手当ては、181頁の給料の欄のところに研修医5名となっているが、研修医の他に嘱託医も含まれており、研修医と嘱託医の5名についても正規ではなく非常勤の扱いをしている。

○大庭博雄委員長

報酬というのはどういうことか。

●釜下課長

4節の報酬は、医師代務料は当初16,700万円の予算としていたが、41,059千円の増額となり、正規の医師の不足分を代務の医師にカバーしていただくことが増えている。

○大庭博雄委員長

非常勤、派遣の医師は、新病院でも非常勤や開業医にお願いして、ひとつの手段として使っていくことになるのか。

●名倉病院長

非常勤は正規医師を補充できずにやむを得ず代務で診療していただいている。呼吸器内科は正規がゼロで、週3回外来診療に来てもらっている。

麻酔科は正規が1名のみで、手術に必要なため、麻酔科医師に1日1人から2人来ていただいて、報酬の最低限を保障して、それ以上になる場合は出来高で支払う。土日は正規の1人に臨時の緊

急手術をさせては過労になってしまうので、浜松医大に拘束料としての支払いをして、実際来てくれたら実動で支払うという方法をとっている。

こういうものは、新病院では正規医師も多くなり、ほとんど不要となるであろう。麻酔科医でも例えば5人来て当直に入ってくれたら外部から雇う必要がない。4.5人で0.5人足りないとか、4人だとすると1週間の中でやむを得ず、雇うことになる。今は土日は全部浜松医大でお願いしているが、月に1,2回助けていただいて代務ということになるかもしれない。

そういうものは限定的になる。

また、手術をする際、高度な技術が必要な場合に、専門家を呼ぶというようなことは新病院になっても続く。

代務料は、かなりの部分は減ると思うが、特殊な技能ややむを得ず頼む場合は非常勤や派遣医師を使うことになると思う。

○豊田勝義委員

184頁、4.5について医業外費用の医師看護師養成費用は、特定な人を選んでいるのか。

●釜下課長

将来の当院の医師看護師確保のためのものである。希望する人に貸付をおこなうが、将来当院で働いていただければ償還しなくてもよいという制度である。

○柴田正美委員

一昨年、経営分析のソフトを使って分析してみたら、全国の同規模病院に比べて、収益的収支及び、資本的収支にも入れる繰入金が少ないとなった。不良債務を出しているのであれば、医師や看護師の確保に否定的な影響があるのではないかと思う。今回、せっぱ詰まってこのような状況になったが、もっと早くやっていたらよかったと思うが、今更だが、是非がんばってよろしくお願ひしたい。

○大庭博雄委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第45号 平成23年度掛川市病院事業会計補正予算（第1号）について  
全会一致にて原案とおり可決すべし

○大庭博雄委員長

以上で委員会を終了する。

4) 閉会 14:15